

ペット業界で働くひとのための情報誌

ZPK会報 

2025 June Vol.74

ペットプロフェッショナル

Pets Professional

本誌
ホームページ公開スタート!
～詳しくは本誌記事 or チラシをチェック～

特集
アンケート企画
飼い主さん3000人に聞きました!

会員サービス
らくらく犬猫管理アプリ



あんしんペット台帳

● 誌上セミナー
やさしい 繁殖学のキホン
なるほど!! ペットの法律・トラブル Q&A

一般社団法人 全国ペット協会
<https://zpk.or.jp>

contents

特集

飼い主さん 3000 人に聞きました！	4
---------------------	---

Information

ZPK 宣言を作成しました	3
---------------	---

誌上セミナー

犬&猫のブリーディングに役立つ やさしい 繁殖学のキホン	10
------------------------------	----

コラム

ペットの法律・トラブル Q&A	14
-----------------	----

DataBank

アイペット損害保険(株)の調査からひも解く ペット関連支出の最新事情	15
------------------------------------	----

License

家庭動物管理士インタビュー	16
家庭動物管理士試験、8 月 22 日(金)開催！	17

Information

2025 ペット業界就職説明会に約 1200 人来場 / 本誌ホームページ公開スタート ほか	18
ペット業界イベント情報	22

お知らせ

あんしんペット台帳	23
-----------	----

PR

アイペット損害保険(株)	表 4
--------------	-----

発行：一般社団法人全国ペット協会
〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-2-2-1F
TEL：03-6206-9684 FAX：03-6206-9685
<https://zpk.or.jp> info@zpk.or.jp

制作・編集：株式会社 PetJobs
発行日：2025 年 6 月 30 日
表紙の写真：(株) AHB・ペットプラス イオン春日部店の N.R. さん。
ご協力ありがとうございました。

全国ペット協会は、①ペット業界の発展及び社会的地位の向上 ②人とペットが共生できる社会環境の構築 ③動物愛護精神の啓発活動に業務を通じて貢献すること——を目指しています

倫理規定

ZPK 宣言を作成しました

全国ペット協会は2021年10月15日に開いた通常総会で、人とペットの共生社会の実現を目指し、第一種動物取扱業者が果たすべき役割や責任についてまとめた「ZPK宣言」を作成しました。会員の皆さまにおかれましては、この宣言をご理解のうえ、人とペットの共生社会を目指し活動いただけますようお願いいたします。

全国ペット協会の倫理規定としては、2003年の動物愛護週間の中央行事「動物愛護シンポジウム」で発表した「2003 ペット小売業宣言」がありました。この度、この宣言を改訂しました。

最初の宣言を発表してから、何度かの法改正があり、業規制が強化されてきました。その背景には、動物取扱

業者による不適切な飼養などがあると言われています。一部の悪質な事例が報道されたり、インターネット上を騒がすことで、動物取扱業者への社会的な信頼が損なわれており、このままでは、人と動物が共生する社会に不可欠な動物のプロフェッショナルとしての存在が危ぶまれるとの思いから、宣言の改訂を行いました。



ZPK 宣言

～人とペットの共生に向けて～

一般社団法人全国ペット協会（ZPK）およびその会員は、命あるペットの適正で健全な販売、飼養・管理など、第一種動物取扱業者としての責任を果たすとともに、飼い主に適切な飼養・管理方法をわかりやすく説明し、飼い主としての責任の重大さについて理解を深めていただくことに努め、地域とも連携し、人とペットの共生社会の実現を目指します。

以上の理念のもとに、私たちは次のことを誓います。

1. 人とペットの健康と安全の確保に努めます。
2. 命あるペットに携わる業としてふさわしい職業倫理の醸成と確立に努めます。
3. 「動物の愛護及び管理に関する法律」及び関連法規の遵守ならびに関係行政機関との連携・協力を推進します。
4. ペットのエキスパートとして、ペットの適正な飼養・管理に関する最新の知識や技術の習得に努め、実践していきます。
5. 飼い主からの相談や苦情に適切に対応できる体制づくりを進めます。
6. 会員同士が互いを高め合い、飼い主が安心してペットを購入でき、飼い主とペットとの幸せな暮らしを支える体制づくりを進めます。

特集

飼い主さん 30000人に 聞きました!



全国ペット協会調査事業アドバイザーボード「ペットとの暮らしを豊かにするアンケート調査」より

購入から1カ月後の ペットの様子を調査 しました

全国ペット協会では、2022年3月から2024年3月までの期間、ペットショップでワンちゃんネコちゃんをお迎えされた方を対象に、「ペットとの暮らしを豊かにするアンケート調査」を実施しました。

この調査は、ワンちゃんネコちゃんと暮らしていく上での飼い主さんの悩みを調査し、ペットショップが果たすべき役割を明確にすることを目的としています。

アンケートはお迎え直後に行うものとお迎えから1カ月後に行うものの計2回行い、分析は両方に回答した5414件の中から有効回答3432件を抽出して行いました。なお、調査にあたっては36社(534事業所)からご協力いただきました。

調査の結果、迎え入れた後のワンちゃんネコちゃんの様子や飼い主さんがどのような悩みを抱えているのかなどの情報を得ることができました。これらの情報は会員様の業務改善だけでなく、人と動物の共生社会

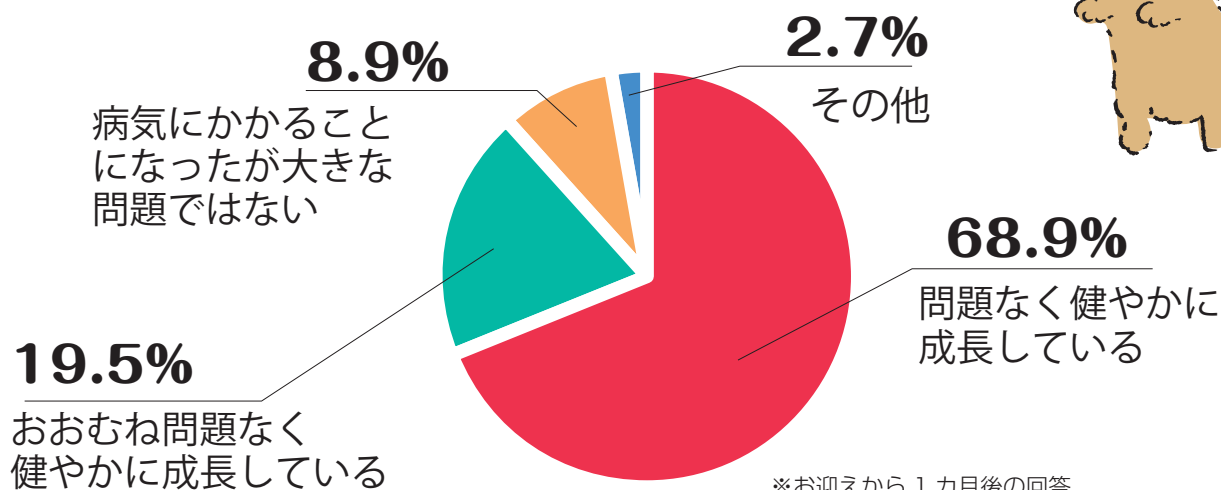
づくりの一助にしていきたいと考えています。

また、本調査をしていく上で当協会は、獣医師や弁護士などをメンバーとする「一般社団法人全国ペット協会調査事業アドバイザーボード」を立ち上げ、調査の方向性等について話し合いを重ねてきました。今回の特集は、5月に公開した調査事業報告書の中から一部抜粋し、掲載します。調査概要や結果の全てをご覧になりたい方は、当協会Webサイトからご覧いただけます。

■ 調査概要

調査エリア	全国
調査対象	ペットショップ（調査協力店／36社534事業所）にて犬もしくは猫を購入した消費者。
調査方法	調査対象者に対し、犬猫の購入後ペットショップ店頭にて、ペットショップスタッフから口頭にてアンケート協力を依頼した。アンケートの回答は、WEBアンケートフォームを設置し、対象者自身の端末から回答した。回答依頼は、1回目を犬猫の購入直後に、2回目を購入1カ月後に行った。
調査項目	飼養開始後1カ月時点の状況について、飼養上の問題が生じているかどうか、どのような点が問題になっているか、相談先、解決の状況、購入の計画性について確認した。調査項目一覧については、報告書末尾に記載した。
調査期間	2022年3月10日～2024年3月31日

Q ワンちゃんネコちゃんのご様子はいかがですか？



ペットショップでワンちゃん若しくはネコちゃんをお迎えしてから 1 カ月後の様子を尋ねたところ、「問題なく健やかに成長している」が 68.9%、「おおむね問題なく健やかに成長している」が 19.5%となり、90%弱のワンちゃんネコちゃんに関しては健やかに成長していることがわかりました。

しかし、「その他 (2.7%)」の詳細を見てみると、「既に手放してしまった」という回答があり、その理由としては「これほど手がかかるとは思わなかった」、「家族にアレルギー症状が出てしまった」というものでした。また、少数ですが「病気で既に亡くなっている」と回答した方もいました。



飼い主向けアンケート協力店募集中 ワンちゃんネコちゃんの“こころの成長の解析”にご協力ください

現在、新たな飼い主向けアンケートを実施しており、
協力店を募集しています。

アンケートは、獣医学分野で専門的な教育と研究に取り組む麻布大学と共同で行うもので、
迎え入れられたワンちゃんネコちゃんの行動について質問し、
“こころの成長”を解析することを目的としています。
ワンちゃんネコちゃんとのより良い生活のため、ぜひこの機会にご協力ください。

✓ アンケート実施方法

全国ペット協会公式 LINE
(現在、アンケート回答以外で友達募集を行っておりません)

✓ 協力店募集期間

2026 年 3 月 31 日まで

✓ 調査項目

- ・ ペットの生年月日
- ・ 飼育場所
- ・ 家族構成
- ・ 散歩時間
- ・ お迎えしたペットの動物種
- ・ しつけに関する事…など



✓ 協力店参加方法

以下の QR コードからお申込みください。
完了後、当協会からチラシとマニュアルを
お送りいたします。



■ お問い合わせ

一般社団法人 全国ペット協会 TEL.03-6206-9684 / mail.info@zpk.or.jp

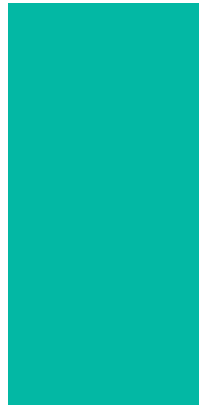
ZPK Zenkoku
Pet
Kyokai

Q ペットショップを利用する目的は？

78.8%
用品の購入



70.7%
食事の購入



35.4%
トリミング
サービスの利用



※お迎えから1カ月後の回答

ワンちゃんネコちゃんをお迎えしたペットショップを利用している人に、来店目的を聞いたところ、用品や食事の購入、トリミングサービスの利用と答えている方がほとんどでした。

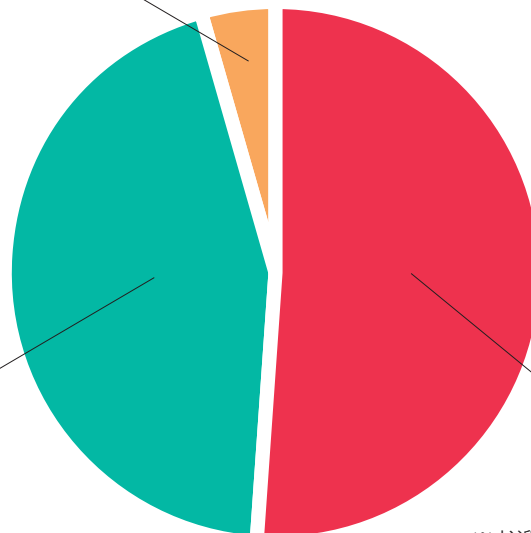
ただ、中には相談目的に来店している方もおり、「飼い方」の相談で来店する方は9.4%、「健康」の相談で



Q どれくらいのペースでワンちゃんネコちゃんをお迎えしたペットショップを利用していますか？

4.3%
その他

44.5%
2～3回／月



ワンちゃんネコちゃんをお迎えしたペットショップを利用している方に来店頻度を尋ねたところ「月1回以下」と回答した方は51.2%。44.5%の方が「月に2～3回」でした。

その他（4.3%）の内訳を見ると「週1～2回」と回答した方は3.9%、「週3回以上」と回答した方は0.5%でした。

51.2%
1回以下／月

※お迎えから1カ月後の回答

✓CHECK

ちなみに「飼い方」や「健康」について悩みを持つ人の来店頻度は以下のとおりとなりました。悩みを抱える人ほど来店頻度が高くなるようです。

“飼い方”について悩みを持つ人の来店頻度

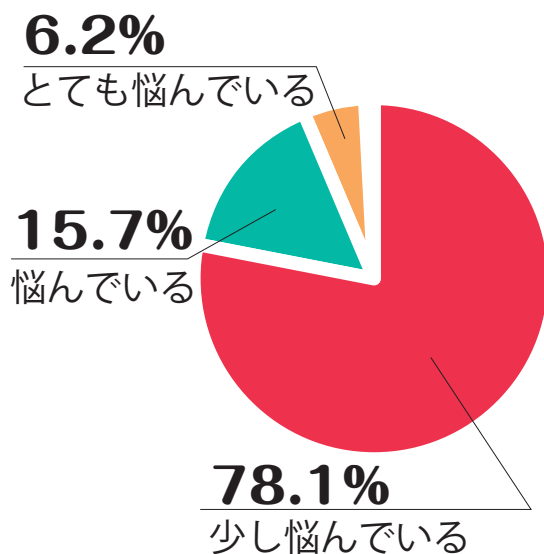
2～3回／月		63.1%
1回以下／月		29.2%

“健康”について悩みを持つ人の来店頻度

2～3回／月		53.9%
1回以下／月		40.1%

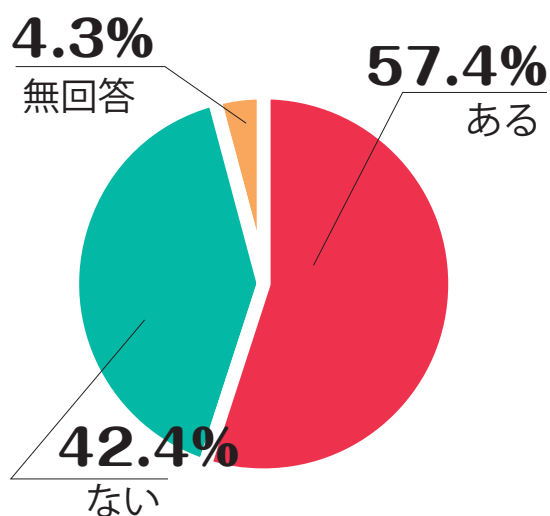
Q ワンちゃんやネコちゃんのこと
どの程度悩んでいますか？

※お迎えから1カ月後の回答



Q ワンちゃんやネコちゃんとの生活で
悩みはありますか？

※お迎えから1カ月後の回答

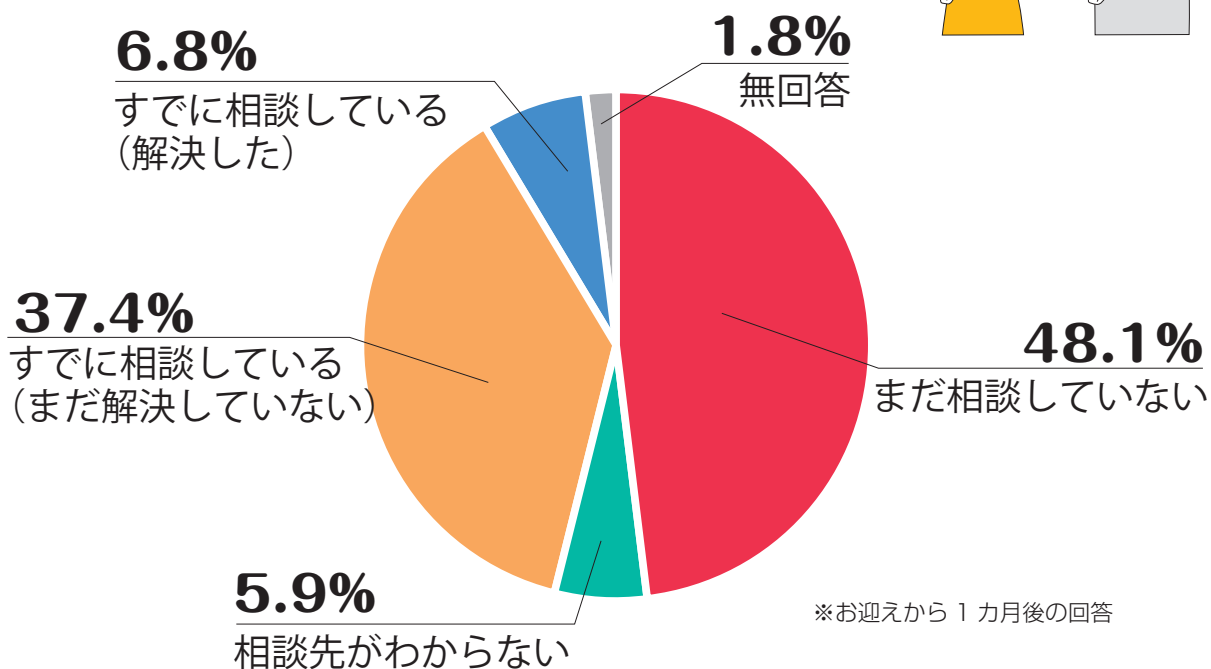


お迎えしてから1カ月後の悩みの状況について尋ねました。半数以上の57.4%の方が悩み「あり」と回答。また、悩みの程度としては、少し悩んでいるが多くを占めていました。また少数ではありますが「とても悩んでいる」方もいました。

Q その悩みについて相談しましたか？

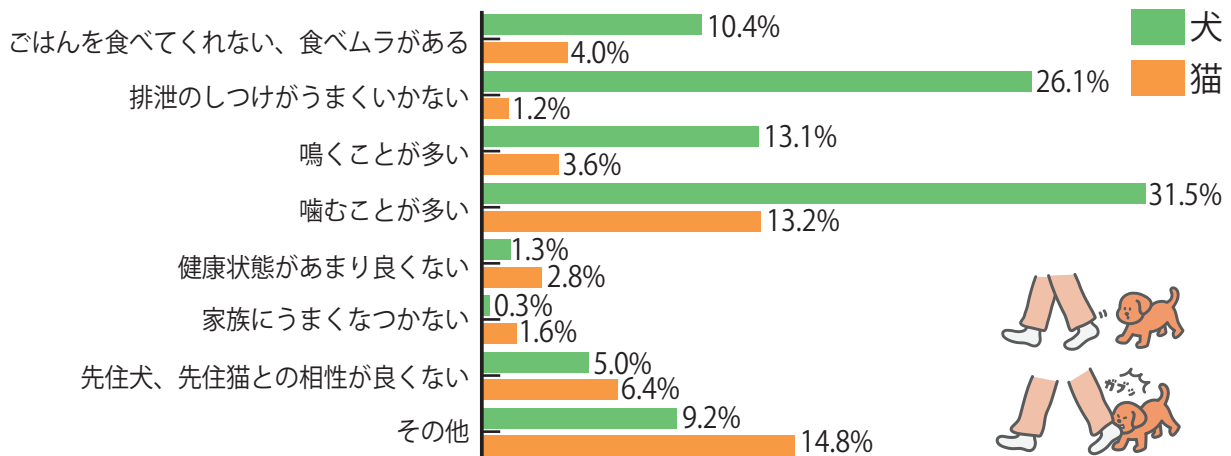
悩みが「ある」と回答した方に相談したかどうかを尋ねたところ、50%弱の方がまだ相談していませんでした。次に多かった回答が、解決はしていないものの既に相談している(37.4%)でした。

また、少数ではありますが、「相談先がわからない」と答える飼い主さんもありました。



※お迎えから1カ月後の回答

Q どのような悩みを抱えていますか？



※お迎えから1カ月後の回答

飼い主さん達はワンちゃんネコちゃんではどのような悩みを抱えているのでしょうか。まずワンちゃんについて上位3つを見てみると、「噛むことが多い」が31.5%、「排泄のしつけがうまくいかない」が26.1%、「鳴くことが多い」が13.1%となりました。

ネコちゃんについては「その他」が14.8%、「噛むことが多い」が13.2%、「ごはんを食べてくれない、食べムラがある」が4.0%でした。多数を占めたネコちゃんの「その他」の詳細は、「部屋を走り回る音が下の階の迷惑にならないか心配」、「スリッパや壁紙の破壊」、「ケーブル類を壊す」など、行動面に対する懸念が見られました。他にも外出のしづらさに関する声も見られました。

Q 相談先はどこですか？ ※お迎えから1カ月後の回答

■ ペットショップ



60.3%

■ 獣医師



46.3%

■ 知人、友人



23.2%

■ インターネット掲示板や SNS



17.9%

■ 家族



11.2%

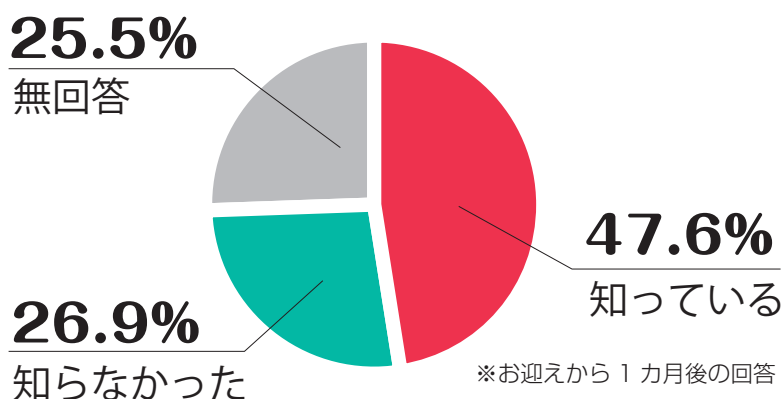
■ ショップ以外の有料相談サービス



7.0%

悩みがあると回答した方に相談先を尋ねたところ、ペットショップ（併設されているしつけ教室、トレーナー、トリマー含む、60.3%）や獣医師（46.3%）に相談している方が多数を占める結果となり、その他は、知人やインターネット（SNS）などに相談している方も見られました。

Q ペットショップで悩みを相談できることをご存じでしたか？



そもそもペットショップで悩みを相談できることを知っている方はどれくらいいるのでしょうか。

「知っている」と回答した方は47.6%、「知らなかった」が26.9%でした。

回答者のうち3割弱が知らないというのは少ない数字ではなく、相談先としての認知向上も、今後のショップ運営に求められてきそうです。

“ペットショップは相談できる場所”というアピールを

お迎えから1カ月後の犬猫のうち、9割弱は健康やかに成長していた一方、病気に罹った犬猫も一定数見られました。生き物である以上、病気等は起きてしまうので、こうしたリスクについて飼い主に注意喚起し、早期発見・治療につなげることは、ペットショップの大きな役割であると言えます。

本調査により、悩みを抱えている飼い主のうち、6割がペットショップへ相談しており、動物病院以上に飼い主が相談先として選んでいることから、相談窓口としての機能を果たしていることが考えられます。

一方で、悩みを抱える飼い主のうち、まだ相談していない飼い主と相談先が分からない飼い主を合わせると半数を超え、また全体の3割弱はペットショップが飼養上の悩みを相談できる場所だと知らなかったようです。

相談対応は直接的な売上にはつながらないものの、ショップと飼い主との関係者を高めるきっか

けになります。将来的な売上に影響する可能性もあるので、ショップが飼養上の悩みを相談できる場所であると社会にお知らせすることは重要な取り組みであると考えられます。

悩みに対してのアンサーを提供できる場所であることを広め、気軽に相談できるような体制を整えることは、飼い主が相談しやすくなるだけでなく、飼養上の悩みの解決につなげる機会を増やすことになります。

ペットショップが、ペットに関する身近な相談窓口となることで、問題が深刻化する前に悩みを解決したり、場合によっては様々な専門家につなぐことができます。こうした機能を発展させることは、ペットショップ経営に対してもプラスの作用であると考えられます。飼い主に寄り添うための相談窓口機能の発展を業界を挙げて促進していくべきではないでしょうか。

※「ペットとの暮らしを豊かにするアンケート調査」報告書 考察より一部加工して掲載

調査報告書公開中

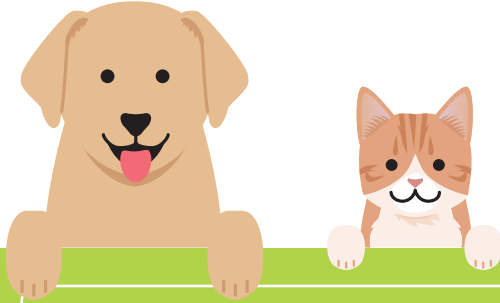
ペットとの暮らしを豊かにするアンケート調査報告書の詳細をご覧になりたい方は、QRコードからご覧いただけます。
全国ペット協会のWEBサイトでも公開中です (https://zpk.or.jp/survey_1/)。



犬&猫のブリーディングに役立つ

やさしい

繁殖学のキホン



日本小動物繁殖研究所(Bio Art)は、遺伝子病検査サービス、繁殖サポート、犬・猫繁殖士認定制度の実施などにより、健康な犬・猫の流通に貢献する研究機関です。本連載では、Bio Art 所属の専門家の皆さんに犬・猫の繁殖に欠かせない知識を解説していただきます。

第4回

犬・猫の遺伝子病

～ミックス犬(猫)は病気のリスクが減る?～

一般社団法人 日本小動物繁殖研究所 (Bio Art) 愛玩動物看護師 本田恵莉

昨年9月号より始まった本連載ですが、「犬・猫の遺伝子病」の解説は今回が最後となります。そこでは、近年人気が高まっているミックス犬について、遺伝子の観点からBio Artの見解をお伝えします。

1. 世間ではミックス犬が人気 犬種1位に

長年人気ナンバーワンだったトイ・プードルを抜いて、ミックス犬が人気犬種1位になったというネットニュースをご存じの方も多いと思います(アニコム損害保険「人気犬種ランキング2025」)。

ペットショップなどでは、「ミックス犬は両親の犬種それぞれの特徴を引き継ぎ、個性的な外見」「自分だけのパートナー」「遺伝的多様性が増し、病気になるリスクが減る」などとミックス犬をアピールしている様子が見られます。また、ミックス犬を迎える飼い主側も「自分だけの唯一無二のペット」と捉え、純血種よりミックス犬を希望する人も多いようです。

それに伴い、ショップでは純血種

よりも高額で販売されているミックス犬も多く見られます。

2. 畜産業では「雑種強勢」を研究・利用

前述の「遺伝的多様性が増し、病気になるリスクが減る」という説明の際、「雑種強勢」という言葉が用いられることがあります。

雑種強勢というのは、2品種、または2系統を交配して産まれた個体が、両親の持つている形質とは違った、あるいはそれ以上の形質、すなわち両親よりも強い活力、優れた経済能力(生産量)を発現するという現象を現した、もともと畜産業界で使用されていた言葉です。

スーパード「三元豚」と書かれた豚肉を目にすることがあると思いますが、これは3品種の豚を掛け合わせ、肉質や体格の良さ、繁殖能力の向上などを目的に作出された豚です。豚以外にも、牛や羊などの肉畜生産では、品種間交配による雑種強勢が古くから行われてきました。

しかし、雑種強勢は異なる品種間で交配すれば必ず発現するというも

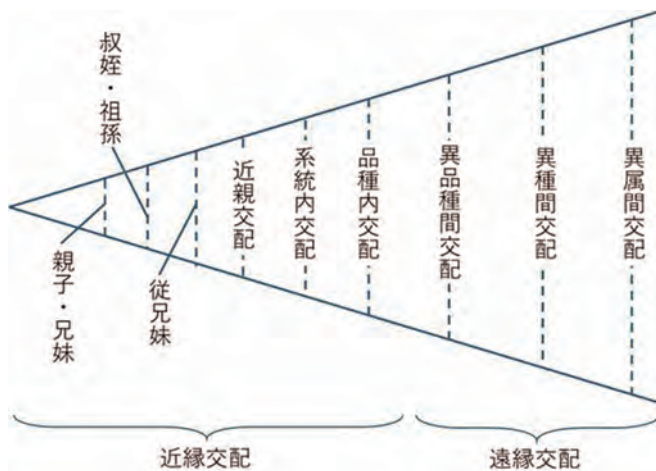


図1. 遺伝的な距離による交配の名称

- ▶**異属間交配**：異なる属同士（牛×水牛、ヤギ×羊など）での交配で、流産したり、産まれた個体が生殖不能であるなど、実用性はない
- ▶**異種間交配**：異なる種間（豚×イノシシ、犬×オオカミなど）での交配
- ▶**異品種間交配**：異なる品種間（牛ではホルスタイン×ジャージーなど、豚ではランドレース×デュロックなど）での交配で、ミックス犬はここに該当する
- ▶**品種内交配**：同じ品種同士（通常）の交配で、純粋交配とも言う
- ▶**系統内交配**：同じ品種内でも、血縁的に近縁関係にある系統内での交配で、平均近交係数10～13%を有するものと考えられている
- ▶**近親交配**：同じ系統の中でも、特に近縁関係にあるもの（親子、兄妹、叔姪、祖孫、従兄妹）の間での交配

※JKC（ジャパンケネルクラブ）では、親子間、同じ父母から産まれた兄妹間（危険とされる近交係数25%を超える掛け合わせ）での交配は基本的にNGとされている

出典：『新家畜育種学』（朝倉書店）

のではなく、それぞれの系統の適・不適を世代を遡って検討した上で品種を選択し、交配を行う必要があります。畜産業界では長年研究が行われており、雑種強勢による効果を評価する計算方法なども確立しています。その結果、牛、羊、豚、肉用鶏では積極的に雑種強勢が利用されていますが、交雑^{※1}に使用される品種はある程度固定されています。

なお、採卵鶏における雑種強勢は、遠縁交配^{※2}よりも近縁交配^{※3}の方が行われています。

このように、雑種強勢というのは交雑の目的（繁殖能力や肉質の向上など）、使用する品種、交雑によって産まれた個体の特徴を把握した上で使用される言葉です。近親交配が危険なこ

とは言わずもなですが、交雑^{※1}安全ではないことを念頭に置いておくべきです（図1）。

※1 異なる種や亜種の関係にある生物を人工的に交配させ、繁殖し、雑種を作ること

※2 血縁関係の遠い、異なる種や品種間での交配

※3 同じ品種内、またはそれよりも近縁関係にあるものの交配

3. ミックス犬の遺伝子病発症は予測不可

前項まで家畜を例に解説してきましたが、ここからは犬の遺伝子病について考えます。

まず、遺伝子病検査は品種ごとに検査項目が定められています（本連載第2回「表1. BoArtで行っている犬の遺伝子検査メニュー」参照）。それぞれの品種に好発する病気があり（この時点で遺伝性である^{※1}と見当がつけられる）、遺伝子を調べたところ発症した個体に共通する遺伝子変異があり、原因がその遺伝

子であると研究がすすめられた結果です。

そのため、各品種でどのような病気を発症するかという予測が立てられ、遺伝子検査が可能なのは検査結果を踏まえて交配することで予防したり、多因子遺伝子病のように検査ができないものに関しては、兆候を見逃さないよう注意することができま

す。では、ミックス犬はどうでしょうか？

まず、両親の品種が異なる時点で、両親それぞれの品種に好発する病気を発症する可能性があります。雑種強勢によって打ち消し合うということも考えられますが、根拠はありません。

また、検査対象でない品種でも、原因となる遺伝子変異を持っている可能性は否定できません。というのも、前述のとおり、遺伝子病検査は発症する品種であることを前提に行われているので、発症していない（過去に発症例がない）ことにより遺伝子を調べられていないというケースも考えられます。

DM（変性性脊髄症）を例に考えてみます。DMの好発犬種であるコーギーと、DMの発症例がないチワワで交配して産まれたミックス犬がいたとします。では、このミックス犬はDMを発症しないのでしょうか？ この問いに対しての答えは「わからない」となります。そもそも、チワワのDM発症についての報告がないため、DMの原因遺伝子を持っているチワワの割合などについては調べられていません。

また、DMの発症には検査対象となる遺伝子以外にも、体型や別の遺伝子が関与している可能性が示唆されています。チワワにおいては、アフエクテッド（病気になる遺伝子を2本持っている）であっても何かしらの理由があつて発症していないだけ、ということも考えられるのです。つまり、ミックス犬がDMを発症するかどうかは見当がつかないのです。

共通する遺伝子病検査項目があれば、その検査結果で発症リスクの判断材料にできますが、それ以外の遺伝子病について、「発症しない」と言い切ることはできません。

4. 遺伝子病以外のさまざまな懸念点

① 先天性疾患のリスクの高まり

遺伝子病以外にも、ミックス犬においてはさまざまな懸念点があります。

スタンダードプードルとラブラドル・レトリバーを掛け合わせて産まれた、ラブラドゥードル（FCIⅡ国際畜犬連盟未認可）というミックス犬の生みの親であるウォーリー・コンロンさんは、「犬アレルギーの人でも扱える盲導犬を作出する」という目的のため、ラブラドゥードルの繁殖を行いました。しかし、産まれた子犬3頭のうち、目的に沿った犬は1頭のみだったということです。

以後、ラブラドゥードルの繁殖が広まりましたが、作出されたラブラドゥードルの多くは精神疾患や遺伝上の問題を抱えることになりました。ウォーリーさんは、後に「行き過ぎた交雑が行われ、先天性疾患のリスクが高まった。健康な子犬が産まれる可能性はごくわずかである」

と、後悔を語っています。

今はラブラドゥードル協会が設立され、健康なラブラドゥードルの作出が進められています。元になる2犬種にはPRA（進行性網膜萎縮症）、DM、股関節形成不全などの遺伝子病があり、交配に使用する個体は慎重に選別する必要があります。

② 交雑する品種の体格差の問題

また、交雑する品種の体格差も問題とされています。

以前、アラスカマラミュートとボメラニアンのミックス犬の繁殖についてSNS上に情報が上がり、批判が集まりました。小型犬と大型犬で交配を行う場合、もし母親が小型犬の場合、妊娠中に胎子が大きくなりすぎて母体が危険な状態になることが考えられます。

子犬が無事に産まれても、小型犬の細い骨と大型犬の大きな体格を受け継いでしまった場合、その子犬は健康に生きていくことができるのでしょうか？ また、体格の違う品種

同士を掛け合わせた際、両親のどちらの特徴をどのくらい受け継ぐのか、はたまたどちらとも違う特徴を



ラブラドゥードル

持つのか、子犬が産まれて成長してみなければわかりません。

近年、ペット飼育可の集合住宅も増えましたが、小型犬1頭のみ、などの制限が設けられていることが多々あります。ミックス犬を小型犬と思って飼いはじめたのに、思いのほか大きくなって飼えなくなった——などということが起こるかもしれません。

余談ですが、昔、私の祖母の家で飼っていた雑種犬は、見た目はボメラニア、サイズは柴犬、顔はその

中間のような子でした。

③猫の例／スコマンチは危険な掛け合わせ

ミックス犬だけでなく、猫でも同様のことが起こっています。

スコティッシュフォールドとマンチカンを掛け合わせたスコマンチは、詳細な説明が不要なほど、危険な掛け合わせであることが推察されます。スコの折れ耳とマンチの短足が、どちらも遺伝子変異が原因である、奇形の一種であることを忘れてはいけません。

また、スコの折れ耳の原因遺伝子は、元々スコにしか存在しないものでした。しかし、近年では他の猫種にもこの遺伝子変異を持つ個体がいることが分かってきています。

おそらく、スコの人気に伴い、他の猫種と交雑されるようになった結果ではないかと考えられています。猫は犬に比べ、交雑に関するルールが緩い傾向にある（品種によっては交雑を推奨されている）ことも、原因の一端と考えられます。これまで折れ耳の遺伝子が原因で「スコ病」と呼ばれていた骨軟骨異形成症も、

もはやスコだけのものではないのかもしれません。

なお、立ち耳のスコにもごく稀に折れ耳の遺伝子を持つ個体が存在することともわかっています。これは、浸透度（ある遺伝子変異を持つ個体のうち、その影響が症状などとして現れる個体の割合）が100%ではないためと考えられます。立ち耳のスコなら大丈夫という通説は、もはや成り立っていないと考えた方がいいでしょう。

5. ミックス犬における繁殖目的とは？

ここまでの話を踏まえて、ミックス犬について改めて考えていきます。家畜における交雑は、肉質や繁殖能力の向上を目的に行われますが、ミックス犬を繁殖する目的は何でしょうか？

ラブラドゥードルの繁殖は社会貢献が目的でしたが、ほとんどは人気があつて売れるからでしょう。また、遺伝子病検査を行っている立場から見ると、遺伝子病検査を免れる

ため、もしくはアフエクトッドの個体を繁殖に使うためではないか——と勘繰ってしまいます。

ミックス犬のアピールとして言われる、「ミックス犬は病気になりにくい」という話の根拠はどこにあるのでしょうか。マルプー（マルチーズ×プードル）、チワプー（チワワ×プードル）などと名付けられたミックス犬もありますが、この子たちは遺伝子病を発症しないと言い切れるのでしょうか。

むしろ、チワックス（チワワ×ダックス）はチワワの骨量にダックスの胴長が合わさること、ヘルニアのリスクが高まるとも言われています。キャバプー（プードル×キャバリア）が、パテラと僧帽弁閉鎖不全症を同時に発症していたという話も聞いたことがあります。

ミックス犬の繁殖は、法律で禁止されているわけではありません。むしろ、商売として繁殖を行うのであれば、高く売れるものを多く作出するのは当然のことです。ですが、遺伝子病検査を通して健康な子犬・子猫の生産をお手伝いしている私たち

Bio Artの立場から、ミックス犬の繁殖についてお伝えしたいことがあります。今回記事を書かせていただきました。

どうかブリーダーの皆様には、モラルのある繁殖を行っていただけますよう、切に願います。

参考文献

・「新家畜育種学」水間豊ら 朝倉書店

1996年

・「神への冒険!？」大型犬×小型犬のミックス犬も…人間が生み出す『罪深い交配の現実』講談社 FRU・現代ビジネス（ウェブサイト）<https://gendaimedia/articles/140563> 2024年

・『怪物解き放った』、ラブラドゥードルの生みの親が後悔表明」CNNインタラクティブ（ウェブサイト）<https://www.cnn.co.jp/fringe/35143198.html> 2019年

なるほど!!

ペットの法律・トラブル

Q&A

気になる法律やトラブルを
わかりやすく解説!

第34回 狂犬病予防注射は どうして必要なの?

執筆: 全国ペット協会事務局

監修: 浅野明子 弁護士

全国ペット協会顧問弁護士

東京都出身。早稲田大学法学部卒。

1999年、弁護士登録(第一東京弁護士会)。

著書に「知って得する! ペット

トラブル解決力アップの秘訣38!」、

「ペット判例集」(大成出版社)がある。

厚生労働省の発表では、犬の登録頭数に対して、狂犬病予防注射をした頭数が全国平均で7割だったといえます。近年は日本で狂犬病が発生していないので、打たなくても特に問題ないのでしょうか?

ご存じの人も多いと思いますが、狂犬病予防法により、飼主は市区町村に①犬の登録を行い、②鑑札を犬に装着し、③年に1回狂犬病の予防注射を受け、④交付される注射済票を犬に装着することが義務付けられています。違反した場合は①~④のそれぞれが20万円以下の罰金に当たります。法的に、予防注射は必ず打つ必要があるのです。しかし、「都道府県別の犬の登録頭数と予防注射頭数等」(厚生労働省)を確

認すると、令和5年度の場合、全国の登録頭数が605万4519頭、予防注射頭数が425万1235頭、注射率が70.2%となっています。また、都道府県別で見ても山形県の87.8%、沖縄県の52.2%と、注射率100%にはほど遠い状況です。背景には、室内飼育が増え「外に出さないから接種しなくていい」と勘違いをしている、注射済票が交付される動物病院以外で接種を受けた(その後交付手続きをしていない)ことなどが考えられます。

●発症するとほぼ100%死亡

狂犬病は、狂犬病ウイルスを病原体とする人獣共通感染症です。人を含めた全ての温血動物が感染し、世界保健機関(WHO)の推計によると世界で

年間5万9000人が亡くなっています。明確な治療法が無いため、発症すると死亡率はほぼ100%となります。1950年代までは日本国内でも多くの人が感染していましたが、人では1956年、動物では1957年の猫での発生が最後です。現在は日本、オーストラリア、ニュージーランドなど数カ国が厚生労働大臣により狂犬病清浄地域に指定されていますが、その他の国々では発生しています。

日本でも輸入感染症例が確認されており、最近では2020年、フィリピンで犬に咬まれた人が入国後に発病し死亡しています。海外からウイルスが持ち込まれる可能性はあるのです。日本では犬のほか、猫、アライグマ、きつね、スカンクも検疫の対象です。

●「注射率70%以上」だから安心?

そこで有効なのが予防接種ですが、WHOは「狂犬病を撲滅するには、犬の個体数の70%にワクチンを接種するだけで十分」としています。法律違反かどうかというものを除けば、日本の犬の注射率は70%を超えているので問題ないのでしょうか。

しかし、厚生労働省発表の注射率は犬の登録頭数が元となっているため、登録

されていない犬も含まれる「全国犬猫飼育実態調査」(一般社団法人ペットフード協会)に注目します。すると、令和5年における飼育頭数の推計は684万4000頭で、登録頭数605万4519頭との差は約79万頭。この飼育頭数と令和5年の予防注射頭数425万1235頭で計算し直すと、注射率は62.1%になっています。実際には、飼育頭数も正確には把握しきれないため注射率はもっと低いと思われる、ひとたびウイルスが侵入すると狂犬病が蔓延・流行する恐れがある状況だと言えます。

●ペットのプロとして伝え続ける

犬の登録も、狂犬病予防注射も、もちろん飼い主の責任において行われるものです。しかし、狂犬病は過去のものだという感覚で、切実感を持っていない飼主も多いと思われます。

皆さんはペットのプロとして、法律による義務付けだけでなく、日本もリスクの高い状況にあることを伝え続けてください。地道な取り組みが、動物や人の命だけでなく社会を守ることに繋がるのです。なお、ワクチンアレルギーなど犬の健康に不安がある場合は獣医さんに相談してください。

アイペット損害保険(株)の調査からひも解く

ペット関連支出の最新事情

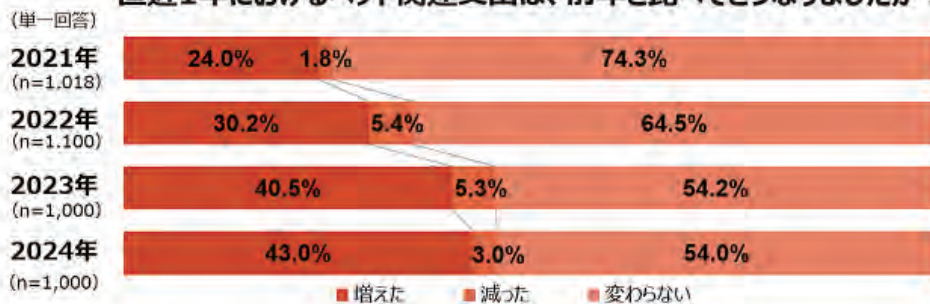
アイペット損害保険株式会社が犬・猫（ペット）飼育者 1000 名を対象に実施したアンケート、「2025 年版ペットの支出に関する調査」の結果を 2025 年 3 月 18 日に公表しました。
ペット関連支出が増えた方の割合が 4 割となり、物価の上昇が大きく影響していることが分かります。

直近 1 年のペット関連支出、「増えた」方の割合が 4 割超に

2021 年まではペット関連支出が前年と「変わらない」とする方が 7 割でしたが、その後は年々減少しています。一方で、前年より「増えた」と回

答する方の割合が 2021 年までは 20% 台でしたが、この 4 年間で約 20 ポイント増加し、2024 年には 43% まで上昇しました。

直近 1 年におけるペット関連支出は、前年と比べてどうなりましたか？

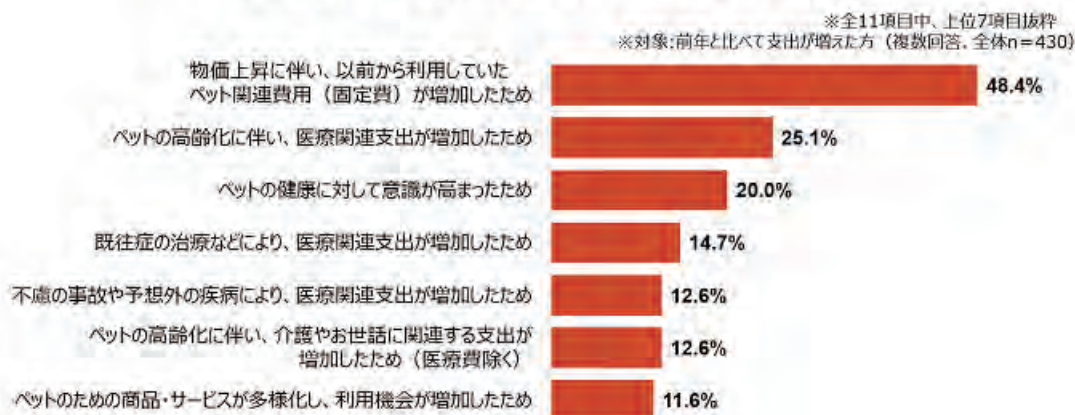


支出増の理由は「物価上昇」が 5 割、医療費の増加も

ペット関連支出が増えた理由として「物価上昇に伴い、以前から利用していたペット関連費用（固定費）が増加したため」が 5 割で首位に。また、2 位に「ペットの高齢化に伴い、医療関連支出が

増加したため」、3 位に「ペットの健康に対して意識が高まったため」と続き、いずれも 20% を超えています。医療関連支出だけでなく、予防的側面からも支出が増加しているのかもしれません。

前年と比べて、なぜペット関連支出が増えたと思いますか？

完全版は
こちら！アイペット損害保険株式会社ホームページ >>> <https://www.ipet-ins.com/info/38466/>

第一線で活躍する家庭動物管理士にインタビュー。お仕事ぶりを拝見しました。

株式会社 AHB
ペットプラス
イオン春日部店
(埼玉県春日部市)

N. R.さん

入社4年目の24歳。この春から同店に異動し、店長代行に抜擢された。小学生の頃にはペットに関わる仕事がしたいと決意し、その意思はブレることなく現在に至る。ご本人曰く「もともとは無口でネガティブ思考」だったが、仕事が成長させてくれた。



店長代行としての役割は？

私の役割は、店長とスタッフとの架け橋です。業務がスムーズに行えるように、相談しやすい雰囲気を作ったり、やるべきことを達成できたらお菓子をプレゼントしたり(笑)と工夫しています。大切なのは、相手を知らうとすること。距離を縮めるため、趣味の話もしたりしますね。

店長は、日々の店舗運営を丁寧に見守り、お店を支えてくださる頼もしい存在です。また、ワンちゃんネコちゃんとの接し方も上手なので、日々学ばせていただいています。

お店の特長はどんなところ？

当店では7名の従業員が働いていますが、全員お客様と仲良くなるのが上手で、しっかりとした知識を持つているため適切にアドバイスできるのが強みです。動物を幸せにするためには、私たちが常に学んで、お客様にお伝えすることが欠かせないと考えています。

当社では従業員を「幸せ配達人」と呼んでいます。私自身、飼主さんとワンちゃんネコちゃんが出会

い、人生が変わる瞬間に立ち会えるこの仕事に本当に大好きです。

ショップ店員を志した理由は？

トリマーになるため専門学校を卒業しましたが、自分に合うお店を探すうちに考えが変わりペットショップ店員になると決めました。

当社に入社したのは、管理体制がしっかりしている、法令遵守を徹底しているなど、信頼できると感じたからです。また、全員が本気で「この子たちを幸せにしたい」と考えて実行に移す社風があり、「私もついでいきたい!」と思っていたので、正社員登用試験に挑戦し、この春、店長代行となることができました。

今後の抱負をお願いします

これまで3店舗を経験してきましたが、今後も他店舗への異動を希望するつもりです。今のうちにできるだけ各地域のお客様と関わり、各店舗の接客技術を学びたいからです。また、個人的には「他社比較」が好きなので、他社さんからも、良い所は積極的に見習っていきたいです。そして、将来は店長になります!

家庭動物管理士試験、8月22日（金）開催！

北海道から鹿児島まで全10会場を実施

ペットのプロのための資格、家庭動物管理士3級の認定試験が、8月22日（金）に開催されます。北海道から鹿児島県まで、全10会場で受験可能です。

2025年の試験は2月、5月、8月、11月の全4回開催予定。すでに実施済みの5月試験では、359人の皆様が合格しました。

申込は7月25日必着！

現在、8月試験のお申込みをWEBまたは郵送で受付中です（7月25日必着）。詳細は、全国ペット協会ホームページをご覧ください。

当日は講習会は実施せず、試験のみを行います。事前に、テキスト＋オンライン講習動画（またはDVD）で自宅学習していただく形になります。

家庭動物管理士3級認定試験 2025年8月開催概要

地域	試験会場	所在地	定員
1. 札幌	北海道経済センター	北海道札幌市中央区	40名
2. 仙台	宮城自治労会館	宮城県仙台市青葉区	32名
3. 埼玉	JA 共済埼玉ビル	埼玉県さいたま市大宮区	83名
4. 東京	TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター	東京都新宿区市谷	108名
5. 浜松	アクトシティ浜松 コンgressセンター	静岡県浜松市中央区	32名
6. 名古屋	imy会議室	愛知県名古屋市中区	64名
7. 大阪	天満研修センター	大阪府大阪市北区	90名
8. 広島	広島 YMCA 国際文化センター	広島県広島市中区	40名
9. 福岡	リファレンス駅東ビル貸会議室	福岡県福岡市博多区	69名
10. 鹿児島	サンブラザ天文館	鹿児島県鹿児島市	55名

◆ 試験開催日

・2025年8月22日（金）

◆ 受験申込締切

・2025年7月25日（金）必着

◆ スケジュール（全会場共通）

・受付開始 14:00～
・実施説明 14:50～
・試験開始 15:00～
・試験終了 16:00



※各会場とも定員になり次第受付を締め切ります。
※お申し込み時点で定員となった場合、他の会場へご移動いただくか、返金させていただきます。

◆ 今後の開催予定

2025年11月／2026年2月 ※いずれも日程等の詳細は未定

※変更になる場合もございます。詳細は試験の約2か月前からご案内致します
※資料請求は事務局までご連絡ください（TEL.03-6206-9684）

**資格取得者は
3万人以上**

家庭動物管理士3級では、動物愛護管理法や消費者関連法など動物を扱う上で欠かせない法律知識、接遇、施設管理、繁殖まで幅広い知識を学習できます。資格取得者は3万人を超え、全国のペット関連業で活躍しています。

資格は、従業員育成の一環として多く取り入れられ、ペット関連学校でもカリキュラムの一部として活用されています。

割引制度について

全国ペット協会（ZPK）会員割引をはじめ、各種割引制度もご用意しております（下記参照）。ぜひ活用ください。

※教材は購入せず、受験のみご希望される場合は対象外となります。

家庭動物管理士費用（受験＋教材）の割引制度

種 類	対 象 者	条 件	受 験 ・ 受 講 料
ZPK 会員割引	・ ZPK 会員の従業員の方	・ ZPK 会員（会員証有効期限が期限内）	15,000 円 ※一般申込の場合は30,000 円
家族割引	・ 既に家庭動物管理士をご取得されている方のご家族 ・ ご家族と一緒に同日の試験を受けられる方（2人目～）	・ 同一苗字、同一住所でのお申込み	
再取得割引	・ 過去に家庭動物管理士資格を取得するも失効された方	・ 過去、家庭動物管理士資格登録番号が発行されている	
学生割引	・ 高等学校、専門学校、大学、大学院の学生 ※学外特別講座など、学生証の有効期限が6か月以下など短期の学生証の場合、中等学校以下の場合は適用外	・ 学生証の写し、学校情報のご提出	

2025 ペット業界就職説明会に約1200人来場

業界注目の就職マッチングイベント 東京・大阪・愛知で盛況のうちに終了

4月21日・23日・25日、全国ペット協会主催の「2025年ペット業界就職説明会」が、東京・大阪・愛知の3会場で開催されました。

4月21日の東京会場は「東京都立産業貿易センター台東館」、23日の大阪会場は「公益財団法人堺市産業振興センター『イベントホール』」、



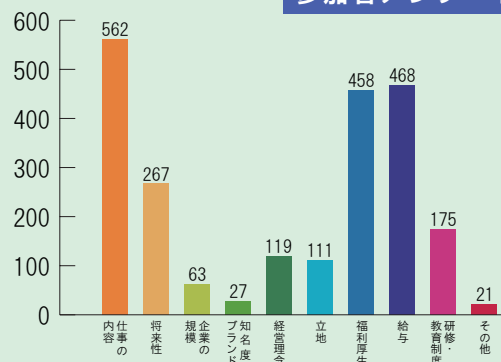
写真はいずれも東京会場の様子

25日の愛知会場は「吹上ホール」『第2ファッション展示場』。ペットショップ、トリミングサロン、動物病院、カフェなどを運営する企業、合計30社が出展しました。

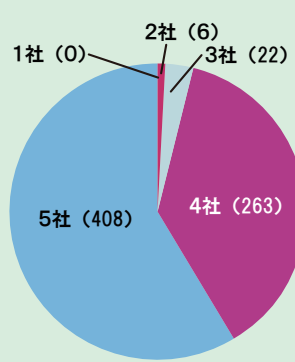
3日間の合計で、当会が認定する専門学校や学生や家庭動物管理士資格者ら1258人が来場し、会場は大盛況。各ブースでは担当者が自社の事業内容や福利厚生などについて説明をしたり、詳細な業務内容について解説していました。また、自社の紹介だけでなく、就職活動の効率的な進め方についてアドバイスする担当者も見られ、「先輩」の話を聞きながら熱心にメモを取る参加者の姿が見られました。

当協会では、前回の就職説明会開催後にいただいたご意見をもとに、今回は例年よりも開催日を約1か月前倒しました。今後も改善点のご提案などがありましたら、ぜひ事務局までお寄せください。

参加者アンケートより



Q. 就職先を検討するにあたり、重要視していることは（複数回答）



Q. 何社の説明を聞いたか

参加者を対象に実施したアンケートでは、3会場合計で763人に回答いただきました。「就職先を検討するにあたり、重要視していることは」という質問に対しては、「仕事の内容」「給与」「福利厚生」の順に多い結果に。また、「何社の説明を聞いたか」に対しては多くが、「4社」「5社」と回答。いずれも、昨年と同様の傾向となりました。

本誌ホームページ公開スタート 紙の会報誌を今後もご希望の場合は要申請！

2017年3月号（41号）より

大幅リニューアルされ、現在の体裁での発行が始まった本誌「Pets Professional」。以来、ZPK会員の皆様に役立つ情報をお届けしてきましたが、近年、「スマホやタブレットで読みたい」「ペーパーレスにした方が環境に優しいのでは？」などのご意見をいただく機会が増えたこともあり、よりよい形での発行形態



について検討して参りました。

その結果、今号（2025年6月号／74号）をもって紙の会報誌送付は終了し、次号（同年9月号／75号）より原則としてPDFデータを全国ペット協会ホームページに公開する形に切り替えることになりました。

公開されるのは原則として、毎年3、6、9、12月の発行月です（月末となる見込み）。会員の皆様に公開の通知が届くシステムはございませんので、ご自身でホームページを確認していただく形になります。

ただし、今後も紙の会報誌をご希望される場合は継続してお届けすることが可能です。今号に同封されているチラシが申請書も兼ねていますので、8月22日（金）必着で忘れずにご送付ください。期日を過ぎて申請しても受付できませんので、ご注意ください。

また、誌面のホームページ公開に合わせて、プライバシーへの配慮から「家庭動物管理士インタビュー」

（ならびに表紙）にご登場いただく皆様の氏名は掲載せず、インシヤルのみとすることになりました。その他の内容は大きく変わっておりませんが、今後も、状況に応じて改善・変更などを実施する可能性がございます。

ます。
より良い誌面作りを心がけて参りますので、引き続き、本誌をご愛読いただきますようお願い致します。

第14回インターペットが閉幕 来場者数は過去最多の7万7878人

2025年4月3日（木）～6日（日）、第14回「インターペット」とペットの豊かな暮らしフェア」が東京ビッグサイト東展示棟（全8ホール）で開催されました（初日のみビジネス商談限定日）。

主催者によると来場者数の合計は7万7878人で、出展者・来場者数ともに過去最多を記録、ペットは2万7027頭となりました（いずれも速報値／同一来場者の2日間来場＝2名としてカウント）。異業種からの新規参入や海外出展者の増加が目立ち、20カ国・地域から980社（国内710社、海外270社）が出展したとのこと。

会場には特設ステージなどが設け

られ、ビジネスパーソン向けのセミナー、一般来場者が楽しめる体験型のワークショップ、出展者プレゼンなど、関係者にとって興味深い発表が目白押し。「ハッピーグルーミングコンテスト」では現役のグルーマーが高い技術を披露、また子供向けの獣医師体験も行われました。
次回は名称を「インターペット東京」と改め、2026年4月2日（木）～5日（日）の日程で開催予定。

姉妹見本市の「インターペット大阪」も、2025年6月13日（金）～15日（日）インテックス大阪にて開催され、無事に閉幕しました。



表紙イメージ

※デザインは2026年版として制作中のものです。詳細は変更になる場合があります。

**受付
開始**

2026年版 ZPKオリジナルカレンダー

価格は据え置きの一部110円〜
新たに未加入者向けプランもご用意！

毎年ご好評をいただいている、全国ペット協会（ZPK）のオリジナル

ルカレンダー、2026年版の注文受付を開始しました。

多くの物が値上がりしている昨今ですが、資材などの見直しにより昨年までと同じ価格を維持！ 店名印刷が無しなら一部110円、店名印刷ご希望の場合は注文部数によって価格が変わりますが、モノクロは最安で一部111円、カラーは最安で一部128円です（いずれも

1000部以上ご注文の場合）。

なお、今回初めて「ZPK未加入者向けプラン」を設け、ZPK会員以外でもモノクロの店名印刷カレンダーのみ購入できるようにしました（価格は会員よりも割高となります）。詳細は、次ページの表をご確認ください。

テーマは「やさしい植物画」

デザインは例年通り、ペットのカレンダー制作に精通しているデザイン事務所が担当しています。ワンちゃんネコちゃんの魅力を生かしつつ、素敵な世界観の絵柄が完成しました。

テーマは「やさしい植物画」。優しい色使いで描かれた季節の花や植物がワンちゃんネコちゃんを包み込んでいるような、癒されるカレンダーに仕上がっています。

動物関連の記念日を表記

カレンダーの日付部分には、祝日などの表記に加えて、ペット・動物関連の記念日を追加しました。お配りしたお客様に喜ばれるだけでなく、例えば会員様ご自身の店舗で使用する場合も、SNSでの情報発信やキャンペーンのスケジュールを考える際などに役立ちます。

また、当月の大きなカレンダーに加えて前月・後月の小さなカレンダー（二週ごとに改行した形のもの）が入っているので、次月の日付や曜日の確認がしやすくなりました。

リピート注文が多い理由

ZPKカレンダーは高品質なのにリーズナブル！ 社名や店名を印刷すれば、1年間お客様に使っていただくことを考えると、かなりコストパフォーマンスの良い販促ツールになります。そのため、毎年多くの会員企業様からリピート注文をいただいています。まだ注文したことがない方も、ぜひご検討ください！

2026 年版カレンダーの特長

日付の数字の下に ペット・動物関連の 記念日などを表記

日付の数字の下には、ペット・動物関連の記念日などを表記。イベントやキャンペーンの日程検討などに役立ちます

28

先勝
動物看護の日



←↑開いたときのイメージ

2027. January

S M T W T F S
1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30

前月・後月の小さな カレンダーが便利！

前月・後月の小さなカレンダーも1週ごとに改行しているタイプなので、めくらなくても来月の日付や曜日が確認しやすく便利です！

※デザインは2026年版として制作中のものです。詳細は変更になる場合があります。

ZPK オリジナル「2026 Dogs&Cats カレンダー」

【価格表（税込）】

		50部～	100部～	200部～	500部～	1000部～
店名印刷なし		一律110円（1部から購入可）				
店名印刷あり	通常料金	モノクロ (1部あたり)	200円	139円	122円	117円
		カラー (1部あたり)	—	156円	139円	134円
	ZPK未加入者向けプラン	モノクロ (1部あたり)	350円	200円	150円	130円
		(通常料金との差額例)	7,500円/50部	6,100円/100部	5,600円/200部	4,000円/500部
		カラー (1部あたり)	—	—	—	—

【入稿について】

- ・会員様が作成した完全データ（ai / pdf）での入稿が可能。
- ・ZPK事務局でデータ作成を承ることが可能です（モノクロのみ）。新規作成には版代として別途5225円が必要です。

【配送料（税込）】

配送料	本州	北海道・四国・九州
200部につき	1320円	1540円

【お支払い方法】

基本的に代引となります。1000部以上ご注文の場合は請求書払いを選択することも可能です。

【お申込み締切】 2025年9月1日（月）必着

【お申込み方法】 本誌同封のチラシをご確認ください

【お問合せ】

全国ペット協会事務局 TEL.03-6206-9684



お申し込みフォーム



<https://zpk.or.jp/form/kameiten/>

加盟店サーチへの登録はお済みですか？

協会会員は、無料で協会ホームページに店舗情報を掲載できる「全国ペット協会加盟店サーチ」に登録いただけます。協会のホームページ上で、販売するペットの種類や住所などからお店の情報を検索できるサービスで、登録は簡単です。まずは、協会ホームページのフォームから店舗情報をご入力ください。

Event Information

ペット関連イベント情報

2025-2026

関連団体等のイベント情報です。展示会は取引先のみ入場可能なものがございますのでご注意ください。

2025/8/22

試験

家庭動物管理士認定試験（3級）

一般社団法人 全国ペット協会

全10会場（札幌、仙台、埼玉、東京、浜松、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島）

03-6206-9684

要事前申し込み（申込み受付：7/25 必着）

2025/8/31

ドッグショー

FCI北海道インターナショナル

ドッグショー【予定頭数 500 頭】

一般社団法人 ジャパンケネルクラブ

千歳市キリンビール北海道千歳工場横広場（アウトドア）

080-1893-0320

2025/9/10~9/11

展示会

2025 年 東京秋季オールペット用品フェア

日本ウエイン株式会社

東京流通センター

東京支社：045-522-2655

2025/10/13

ドッグショー

FCI 埼玉インターナショナル

ドッグショー【予定頭数 700 頭】

一般社団法人 ジャパンケネルクラブ

あきる野市東京サマーランド太陽光発電駐車場（アウトドア）

04-2932-0111

2025/10/3~10/9

展示会

2025 年 大阪秋季オールペット用品フェア

日本ウエイン株式会社

大阪マーチャндаイズ・マートビル

大阪本社：072-636-1050

2025/10/22~10/23

イベント

P&L ジャパン 秋の展示会

P & L ジャパン株式会社

産業見本市会館サンフェスタ・卸町会館

022-381-0381

要事前申し込み

2025/10/22~10/23

★競技会

2025 トリミングスタイルコンペティション（P&L ジャパン 秋の展示会同時開催）

P & L ジャパン株式会社

産業見本市会館サンフェスタ・卸町会館

022-381-0381

要事前申し込み

2025/10/26

ドッグショー

FCI 中国インターナショナル

ドッグショー【予定頭数 600 頭】

一般社団法人 ジャパンケネルクラブ

浅口市三ツ山スポーツ公園（アウトドア）

086-253-7563

2025/11/1~11/2

イベント

Lovely にゃんフェスタ in 大阪 2025

ラブリーペット商事株式会社

大阪南港 ATC ホール

2025/11/1

キャットショー

ZCC キャットショー（Lovely にゃんフェスタ in 大阪 2025 内で開催）

一般社団法人全国キャットクラブ

大阪南港 ATC ホール

03-5847-2525

2025/11

試験

家庭動物管理士認定試験（3級）

一般社団法人 全国ペット協会

詳細未定

03-6206-9684

要事前申し込み

2025/11/15

イベント

2025 動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"

公益社団法人 日本獣医師会

東京都上野恩賜公園・不忍池周辺（東京都台東区）

03-5390-6138

2025/11/16

ドッグショー

FCI 九州インターナショナル

ドッグショー【予定頭数 600 頭】

一般社団法人 ジャパンケネルクラブ

九州ブロック管内

0952-24-1703

2025/11/30

ドッグショー

FCI 大阪インターナショナル

ドッグショー【予定頭数 800 頭】

一般社団法人 ジャパンケネルクラブ

未定

06-6693-7911

2025/12/14

アジリティー競技会

FCI 西日本インターナショナル

アジリティー競技大会

一般社団法人 ジャパンケネルクラブ

滋賀県竜王町ドラゴンハット

0771-74-3011

2025/12/21

ドッグショー

FCI 東京インターナショナル

ドッグショー【予定頭数 900 頭】

一般社団法人 ジャパンケネルクラブ

東京都内

2026/2

試験

家庭動物管理士認定試験（3級）

一般社団法人 全国ペット協会

詳細未定

03-6206-9684

要事前申し込み

2026/4/2~4/5

展示会

インターペット東京

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

詳細未定

犬猫生体管理の便利ツール



あんしんペット台帳

法令で義務付けられている帳簿や台帳など、管理しなくてはならない情報が多い動物取扱業。
全国ペット協会が提供する「あんしんペット台帳」で管理業務を簡単にしてみませんか？

あんしんペット台帳でできる6つのこと

生体登録

体重や毛色、生年月日などの基本情報が記録できます。

販売管理

顧客情報入力のほか重要事項説明書も作成できます。

成長記録

生まれた子供の成長を体重と写真で管理できます。

NEW

繁殖管理

繁殖履歴の作成、生まれた子供の登録ができます。

健康管理

ワクチン接種や健康診断の記録ができます。

出力機能

法令で義務付けられている帳簿類※を出力します。



あんしんペット台帳とは

パソコンやスマートフォン、タブレットからワンちゃんネコちゃんの「生体」「繁殖」「健康」「販売」に関する情報を入力できます。さらに動物愛護管理法が求める台帳や帳簿も作成可能です。

コンプライアンスが重視される昨今、安心して仕事ができるようペットショップ、ブリーダーの方々に支援するためのサービスです。

※「動物に関する帳簿」、「重要事項説明書・確認書」、「飼養施設及び動物の点検状況記録台帳」、「繁殖実施状況記録台帳」、「犬猫等販売業者定期報告届出書」

新機能追加

わんちゃん・ねこちゃんの成長を記録できるようになりました。子犬・子猫の成長を**体重**と**写真**で管理することができます。

ぜひこの機会にご利用ください。



成長記録			
前へ		次へ	
♂/♀	呼び名	03/18 1日目	03/19 2日目
♂	ZPKオス 犬(子)	100	100
♀	ZPKメス 犬(子)	110	100
♀	ZPKオス 犬(子) 2	105	100

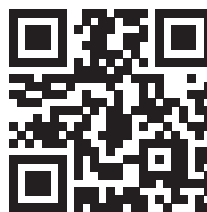
※画像はスマートフォンでの利用をイメージしたものです。

ご利用方法

ご利用にはお申込みが必要です。全国ペット協会会員の方は左のQRコードかWEBサイトから、会員ではない方は右のQRコードからお申込みください。

会員の方はコチラ

会員でない方はコチラ



■お問い合わせ 受付時間：午前10:00～18:00

TEL.03-6206-9684 / Email.info@zpk.or.jp

一般社団法人全国ペット協会（東京都千代田区神田司町2-2-2 大森ビル1階）

0歳～12歳11か月まで新規加入OK(終身で継続可能)

もうひとつの愛のカタチ

大切な“家族”にペット保険



動物医療には、

公的医療保険制度がありません。

人なら健康保険に加入していれば

診療費も薬代も通常1～3割負担ですが、

動物医療は100%自己負担となります。

万が一のことが起こったとき、

“うちの子”のために最良の選択ができるように

ペット保険に加入される方が増えています！

通院から入院・手術まで幅広くカバー

うちの子

[ペット医療費用保険]

通院 + 入院 + 手術

手術に特化した補償で保険料を抑えた

うちの子 Light

[ペット手術費用保険]

手術 + 手術を含む
連続した入院

※保険金は、支払限度額・支払限度日数(回数)等の補償範囲内でお支払いします。

コンタクトセンター新規専用ダイヤル

通話無料 0800-111-1525

ワンワンワン わんこにゃんこ

受付時間

月～土 9:00-18:00

ビジネスフォン・IP電話 [有料] 03-4235-5339

※日・祝休日・年末年始はお休みさせていただきます

WEBからのお問合せ

当社WEBサイト内
「各種お問合せ窓口」

アイペット 問合せ 検索

<https://www.ipet-ins.com/contact/>

